





事業実績報告書

様式2
(2018年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	C-03	講座名	環境エネルギー塾
記載日	2018/9/18	団体名・企業名	中部電力株式会社
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>私たちの快適で便利な暮らしを支えているエネルギー。誰が、どこで、どうやって作っているのでしょうか？資源が少ない日本のエネルギー事情はどうなっているのでしょうか？エネルギー問題と環境問題は切り離して考えることはできません。</p> <p>「環境エネルギー塾」は、エネルギーの“いま”を支える現場を見て、感じ、これからの社会や暮らし、エネルギーについて学生同士で考える講座です。</p>			
〈写真添付スペース(1~2点)〉			
 写真1		 写真2	
※写真1の説明		※写真2の説明	
碧南火力発電所（ボイラートップ）の見学風景		御前崎風力発電（規模体感）見学の様子	
 写真3		 写真4	
※写真3の説明		※写真4の説明	
川辺水力発電所（水車）見学風景		グループワークと発表の風景	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>大学の夏季休業期間内（後半）に開催することにより、気軽に参加できる講座としました。</p> <p>普段は入ることができない各発電所の見学を中心とし、現場の若手社員が案内役を務めるなど参加学生との触れ合いを重視し、質問をしやすい工夫をしました。受講者は、様々な電力現場で、説明者の声に熱心に耳を傾け、自分の目で見て感じたことを最後のグループワーク（ディスカッション・発表）で互いの意見を交わすことで理解を深めました。グループ発表や全体質疑では、活発な質疑応答がなされ、受講者のみならず、社内の運営協力者からも学生らの深い学びについて、好評を得ることが出来ました。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)			
<ul style="list-style-type: none"> ・自分とは違う考えの人と意見を交わし、今後のエネルギーについての理解を深めることができた。様々な大学の人との交流は、かなり刺激になった。 ・普段なかなか入れない場所に行って働く社員のみなさんの話を聞いて、非常に勉強になった。電力の暗くて供給の使命感を肌で感じる事ができた。 ・エネルギーの最先端技術や知識を実際に現場に行き行って学ぶことができた。内容が濃く、とても面白かった。貴重な経験をさせてもらい、充実した三日間だった。 			